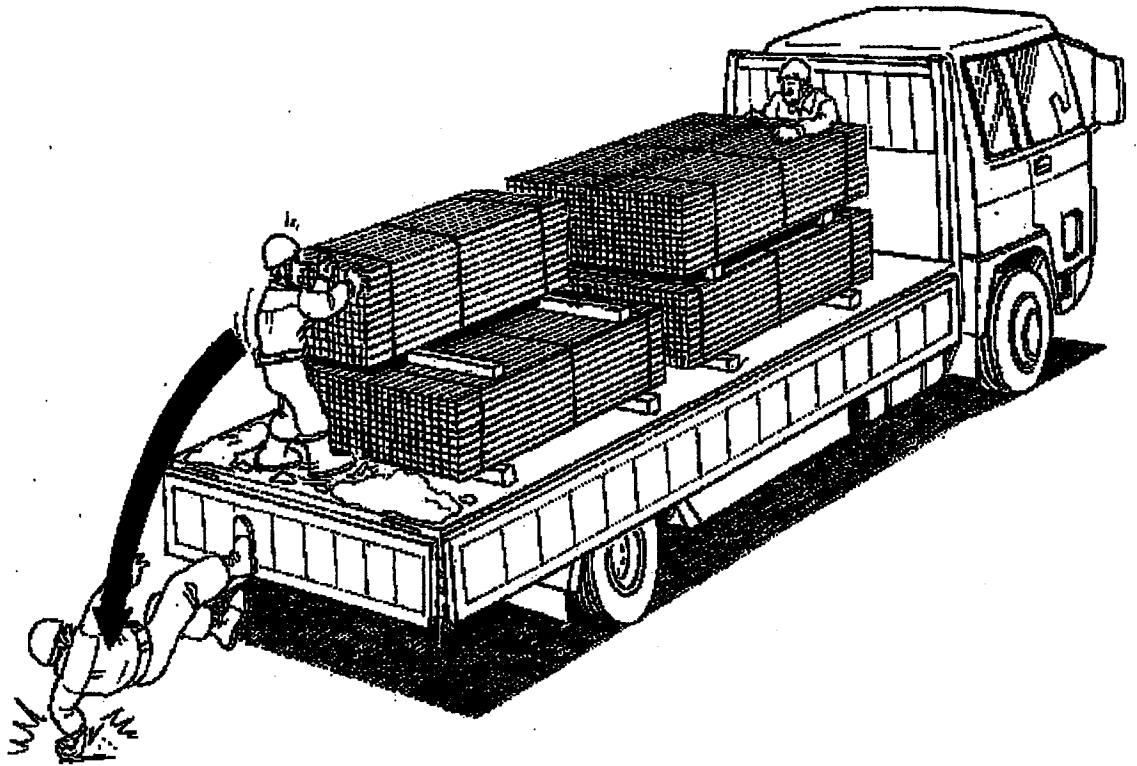
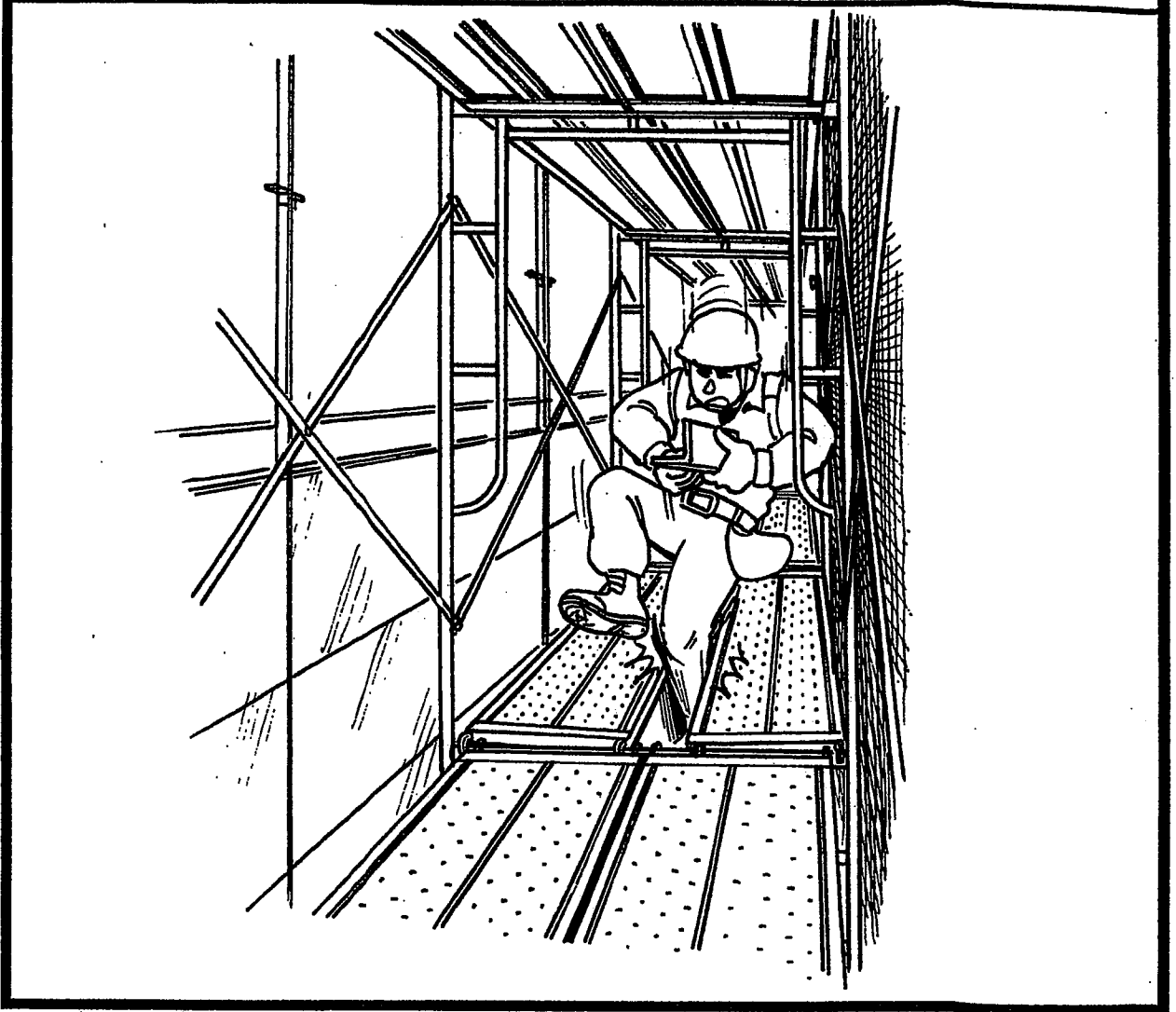


トラックの荷台より転落し、左手首を骨折



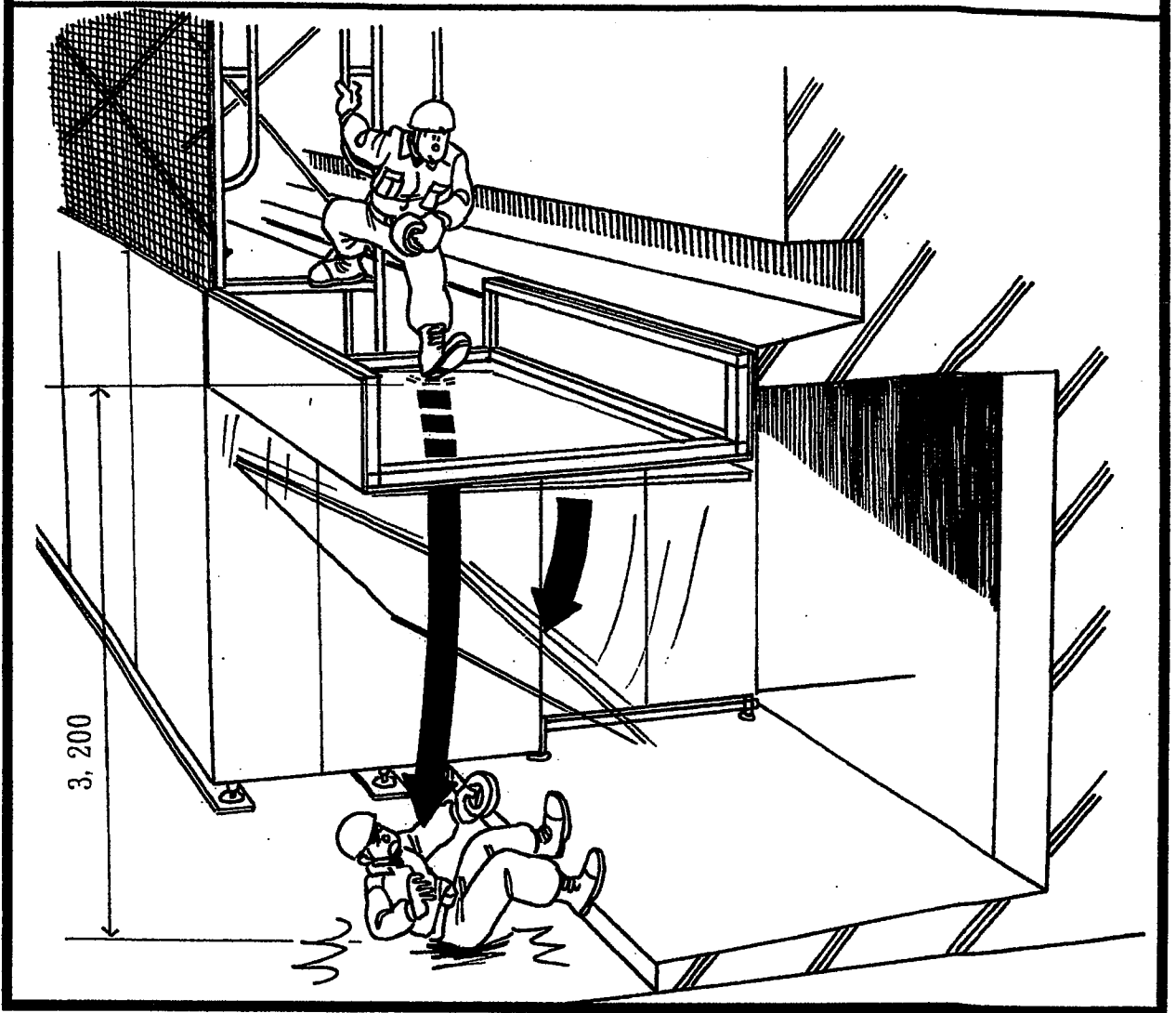
建築	工種: 内装工事	事故の型: 墜落・転落
事故の分類	発生日時・天候: 2001.3.9 (金) 10:00 晴	起因物: トラック
	被災内容: 左手首骨折	損失日数: 9日
	職種: 普通作業員	職 種: 普通作業員
事故の発生状況	経 験: 0年5ヵ月	請負関係: 1次
	発生状況	フォークリフト運転手とともに軽量鉄骨下地材の荷取り作業中、トラックの荷台上で梱包を取ろうとしたところ、荷台に残っていた昨夜の雪で足を滑らせ墜落した。
	原因	被災者はトラック荷台の端部で作業を行った。
	対策	荷台の端部では極力作業を行わない。

足場上を歩行中、布板の隙間に足を取られ膝を負傷



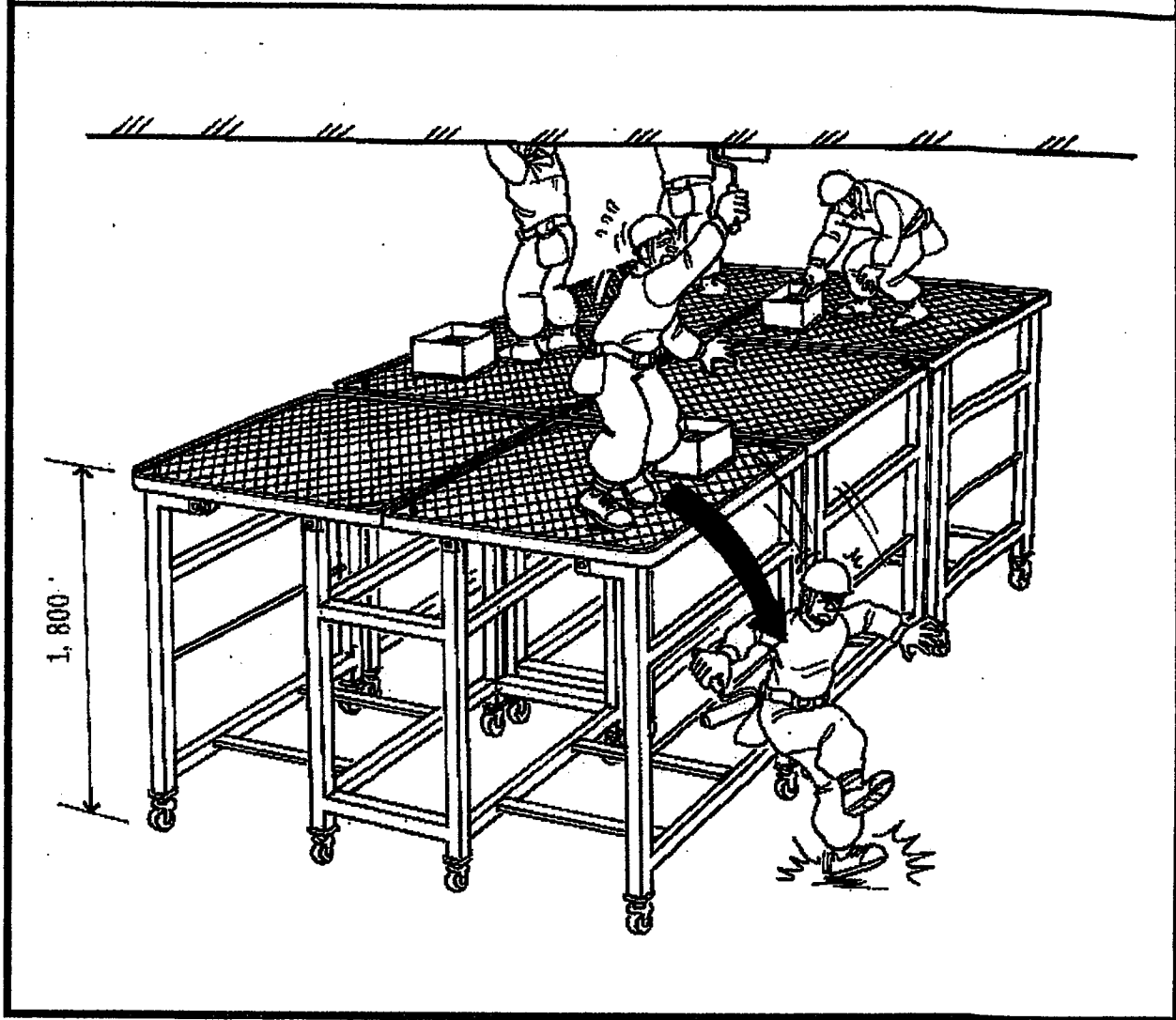
建築	工種:ブロック・レンガ工事	事故の型:転倒
事故の分類	発生日時・天候:2000.7.3(月) 11:00 晴	起因物 : 枠組足場
	被災内容:左膝靭帯損傷	損失日数:11日
	職種 : 組積工(ALC)	請負関係:2次
事故の発生状況	経 験:1年0ヵ月	年 齢:23才(男)
	発生状況	被災者は外壁ALC取付作業中、荷重受けのアンクルピース(50×50×4 L=100)を持って足場を歩いていた際、布板の隙間に足を取られて踏み外し、左膝内側を損傷した。
	原因	・布板と布板の間に隙間(9cm)があった。
対策	・布板が開かぬよう結束を行う。日常点検を確実にを行う。(隙間は3cm以下)	

足場外の梁化粧養生用コンパネに乗り墜落



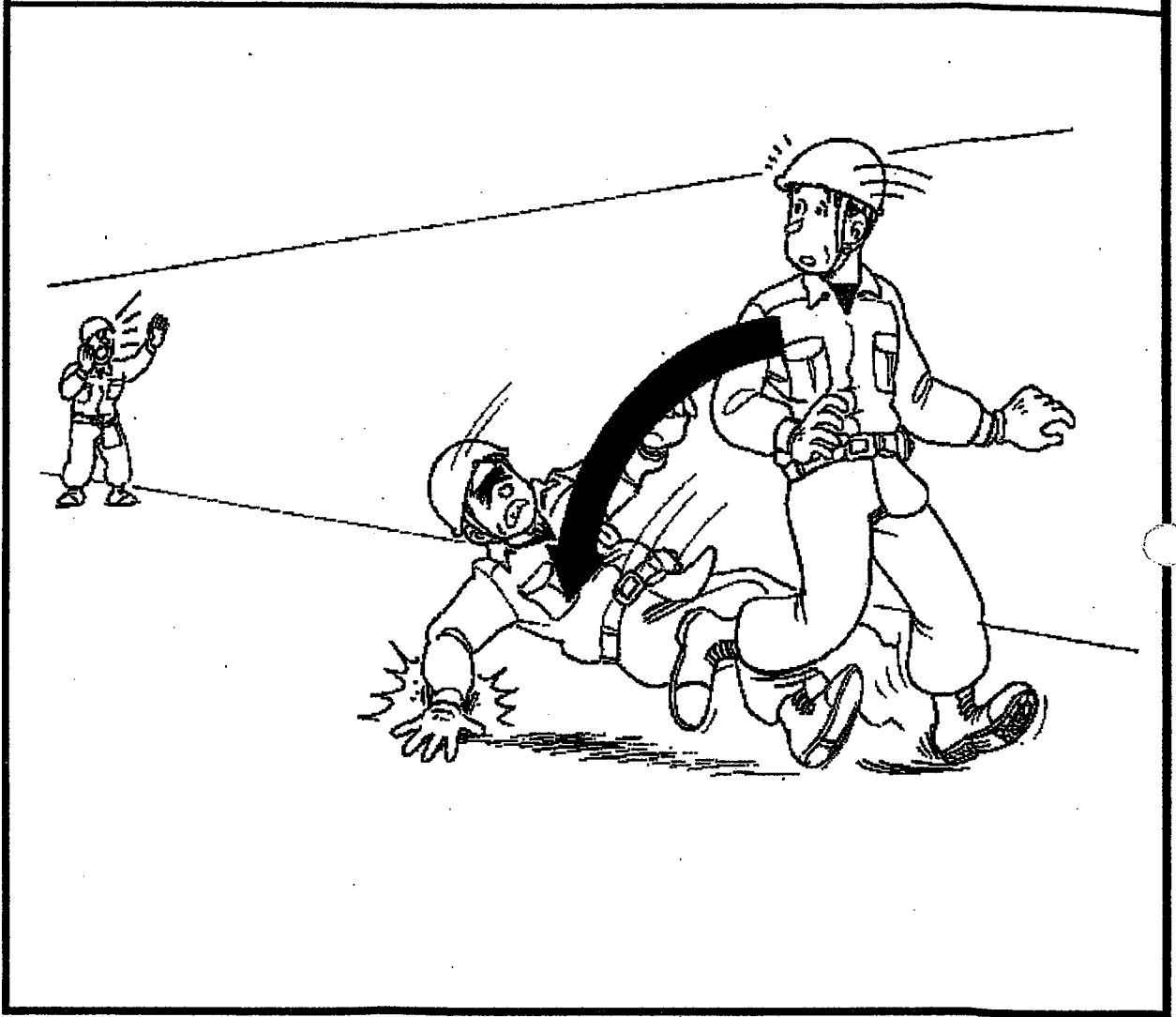
建築	工種: 塗装工事		事故の型: 墜落・転落
事故の分類	発生日時・天候: 2000. 8. 4(金) 15:45 晴		起因物 : 其他開口部
	被災内容: 骨盤部骨折	損失日数: 49日	職種 : 塗装工
	経 験: 20年0ヵ月	年 齢: 37才(男)	請負関係: 2次
事故の発生状況	発生状況	既存外壁カーテンウォール部の塗装改修工事において、塗装境界部分に養生用ビニールシートを貼り付ける作業中、軒先部(地上3.2m)で化粧養生用のコンパネに乗ったところ、コンパネとともに墜落し腰を負傷した。	
	原因	・立入り禁止措置を行わなかった。	
	対策	・確実に立入り禁止措置を行う。	

セフティベース上でバランスを崩し飛び降りて踵を骨折



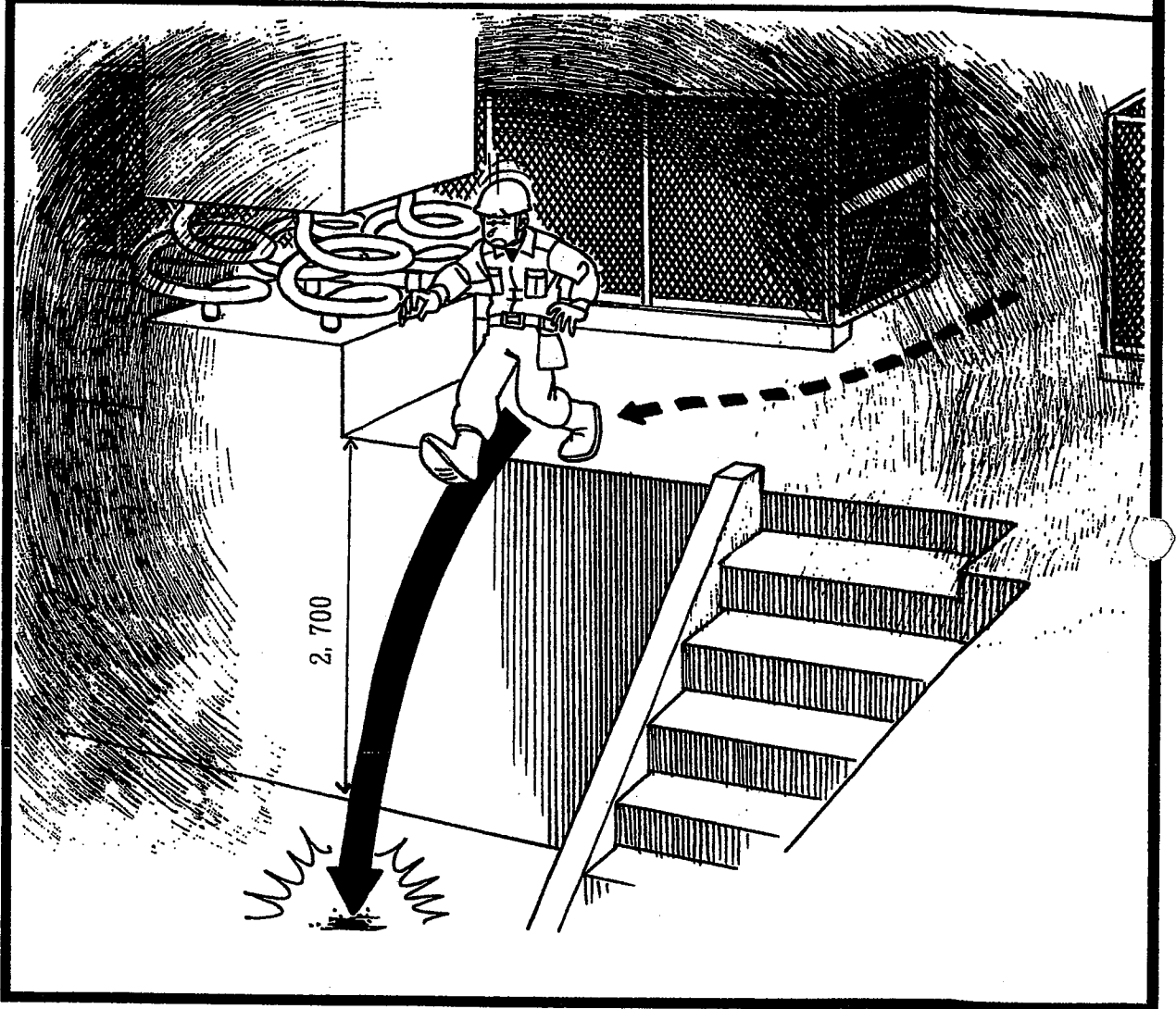
建築	工種: 塗装工事	事故の型: 墜落・転落
事故の分類	発生日時・天候: 2000.10.1 (日) 11:20 晴	起因物: 移動足場
	被災内容: 左足踵骨折	損失日数: 23日
	職 種: 塗装工	職 種: 塗装工
事故の発生状況	経 験: 6年0ヵ月	年 齢: 41才 (男)
	請負関係: 3次	
	発生状況	1階エレベータホール天井塗装のためセフティベース上 (1.8m) で養生テープを貼り付け中、右側に移動しようとした時にバランスを崩し、土間コンクリート上に飛び降りた際、左足首を骨折した。
	原因	被災者はセフティベースを移動せずにセフティベース外の作業を行なおうとした。
対策	セフティベース外の作業は必ずセフティベースを移動して作業を行なう。 複数作業員で作業を行う際は声を掛け合い作業を行う。	

声をかけられ振りむき、足が滑って転倒



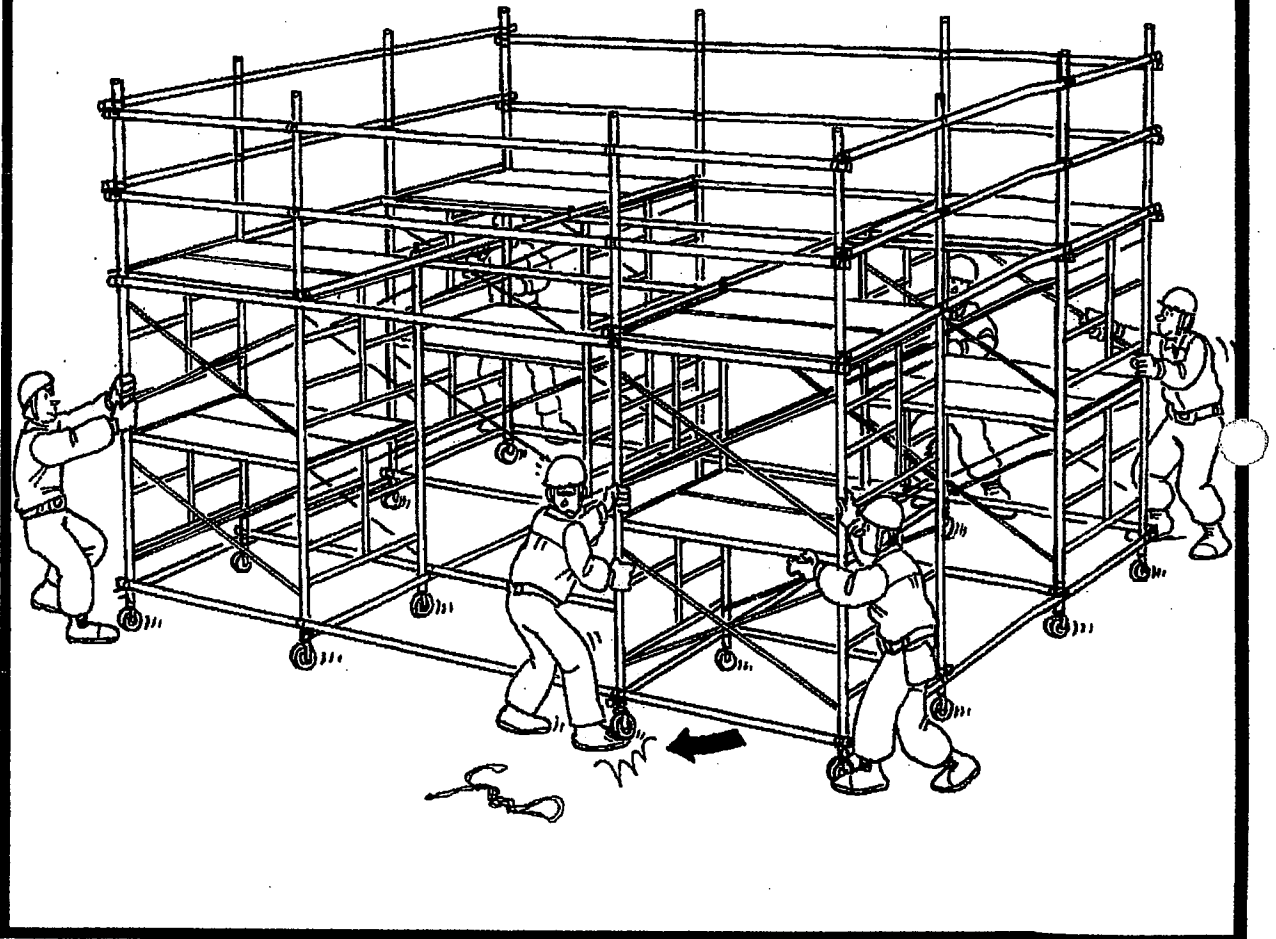
建築	工種: その他(仕上)工事	事故の型: 転倒
事故の分類	発生日時・天候: 2001.1.29 (月) 9:00 晴	起因物: 声
	被災内容: 右手首骨折	損失日数: 11日
	職 種: 防水工	請負関係: 3次
事故の発生状況	経 験: 19年0ヵ月	年 齢: 50才(男)
	発生状況	作業場所を歩行中、後ろから声をかけられて振りむいた際、左足が滑ってバランスを崩し右手をついた。その際手に体重がかかり手首を骨折した。
	原因	
	対策	

照明不足によりコンクリートスラブ端部より墜落



建築	工種:雑工事	事故の型:墜落・転落
事故の分類	発生日時・天候:2000. 7. 24(月) 9:05 晴	起因物 :コンクリートスラブ
	被災内容:足腰打撲胸椎圧迫	損失日数:17日
	職 種 :土工	請負関係:2次
	経 験:8年6ヵ月	年 齢:41才(男)
事故の発生状況	発生状況	被災者は免震装置の隙間を測定しようとし、床がまだ続いていると勘違いし免震装置のあるコンクリートスラブより1段下のコンクリートスラブへ2.7m転落し負傷した。
	原因	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スラブ端部の養生がなかった。</li> <li>・照明が不足していた。</li> </ul>
	対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スラブ端部には必ず親網・手すりを設ける。</li> <li>・必ず作業を行うのに必要な照度を確保してから作業を行う。</li> </ul>

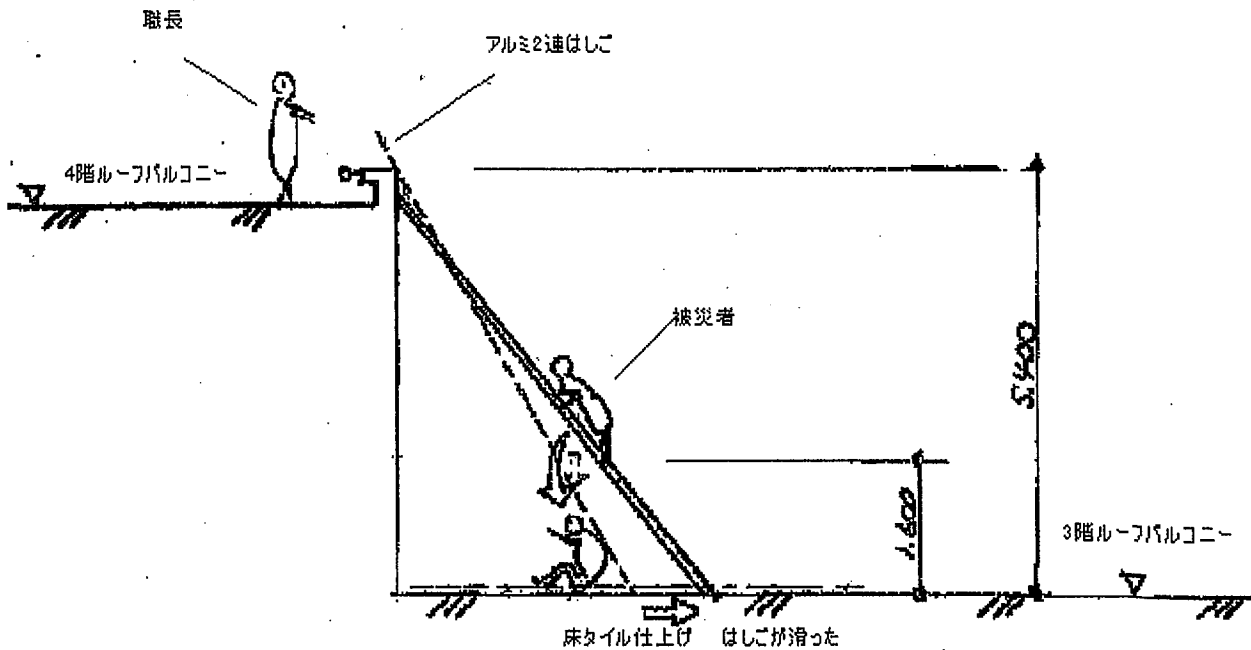
ローリングステージの移動中、車輪に右足つま先を挟まれ負傷



建築	工種:内装工事	事故の型:はさまれ・巻き込まれ
事故の分類	発生日時・天候:2000.9.8(金) 10:40 曇	起因物:移動足場
	被災内容:足指骨折	損失日数:11日
	職種:内装工	請負関係:3次
事故の発生状況	経 験:28年0ヵ月	年 齢:48才(男)
	発生状況	被災者は隣接区画にあったローリングステージを自らが受け持つ区画に移動するため、職長他4名の作業員の助力を得て手で押して移動を開始した。その際進行方向に後向きで引っ張っていた被災者が、誤って右足つま先を車輪に踏まれ負傷した。
	原因	・被災者は安全靴を履いていなかった。
対策	・必ず安全靴を着用する。	

NO1	区分	事故型	傷病程度	職種	年齢	所属
	建築	墜落 (1.6m)	損失 60 日 (両足踵骨折)	防水工	55才	2次

**発生の状況** 防水補修工事において、3階バルコニーから4階バルコニーへの昇降用に、アルミ伸縮はしご (2連) をセットし、職長がはしごの上部を固定するため4階バルコニー上に昇った。(被災者は3階床上ではしごの下部を押さえていた)。職長がバルコニー周りの丸環の位置を確認している間に、被災者は、勝手に梯子を昇り、途中で梯子の足元がずれ、咄嗟に飛び降りて被災した。



### KYのポイント

- ◆ “はしご” 使用時には、次の3点を確認する  
(設置状況の点検・確認)
  - ① はしごの転倒防止をしているか (滑り止め等)
  - ② はしごの上端は上部の床から60cm以上突き出しているか  
(使用上の注意)
  - ③ 手に物を持って昇降しない
  
- ◆ 職長は、“作業開始前現地KY” を必ず実施する

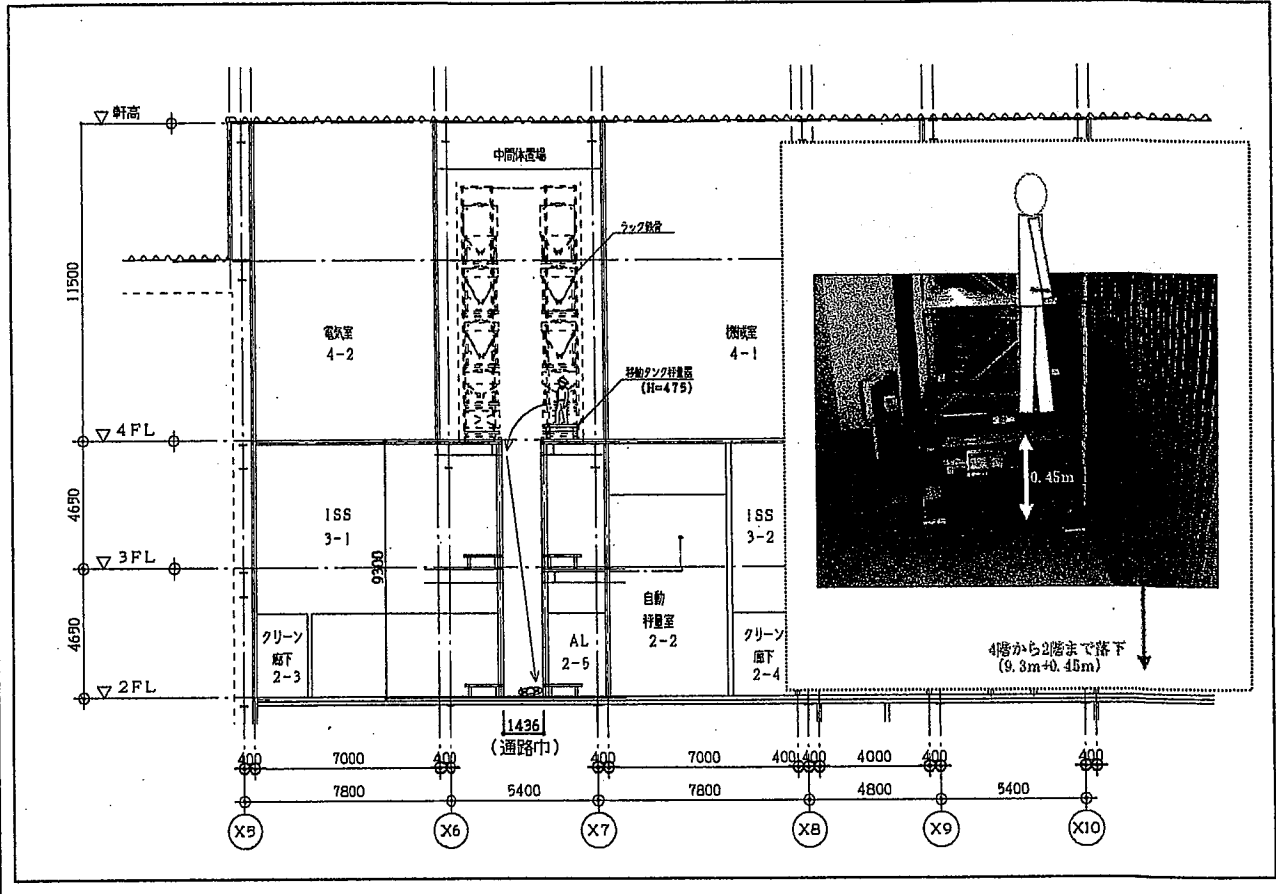


NO	区分	作業の種類	事故型	傷病程度	所属
6	建築	シール工事	墜落（高さ約9.8m）	死亡	30才 3次

**発生の状況**

4階倉庫内の、移動タンク秤量器下部床面のシール工事のため、被災者が先に1人で入室して作業場所を確認中、秤量器の上に乗って、スタックークレーンの走行通路上部吹抜け開口部から2階のスタックークレーンの走行通路に墜落したと思われる。

（建物本体引渡し後、エンジニアリング工事の生産設備試運転期間中にシール工事を行う予定であった）



—作業標準— (仕上編) シーリング工事7：シーリング防水作業

NO	作業の順序	どんな危険があるか (予想される災害)	評価	私たちはこうする (防止対策)	誰が
1. 準備	4) 足場, 作業エリアの点検	<p>※床開口部から墜落</p> <p>・つまずき転倒する</p>	●●	<p>・開口部周辺では垂直、水平養生を確認する</p> <p>※点検中、安全帯を使用する</p> <p>・安全な作業用通路を確認する</p> <p>・段差、スロープ等の改善と障害物を除去する</p>	<p>作業責任者</p> <p>作業責任者</p> <p>作業責任者</p>
リ ス ク 評 価	高い	●●●	5	<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>・竣工前の部分引渡し等、仮設施設を撤去した後での、手直しや残工事の仕舞い等が、作業打合せから洩れたり、施工場所の把握等がおろそかになって安全対策が不十分なまま、危険な状態で作業が行われるような事が無いように、安責者・職長は、作業内容の確実な把握、安全施設の状況確認等、再点検を徹底すること</p>	
	やや高い	●●	4		
	中	●	3		
	やや低い	▲▲	2		
	低い	▲	1		

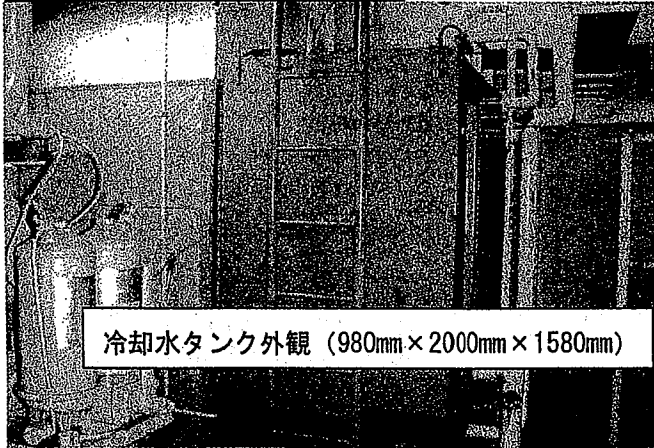
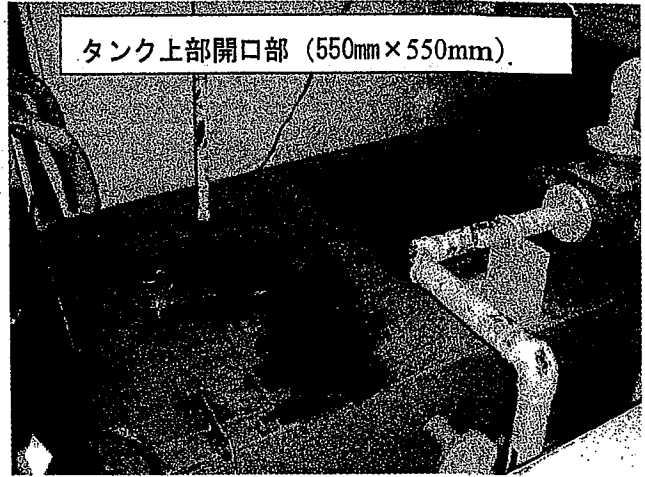
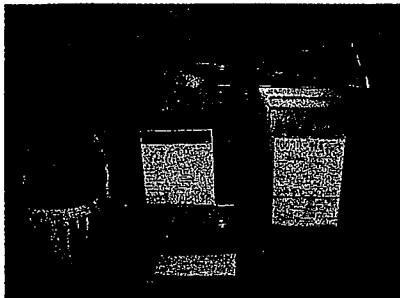
※ は、本災害発生に伴う追加事項

「作業場所での作業手順KY」を徹底指導する

NO	区分	作業の種類	事故型	傷病程度	年齢	所属
3	建築	タンク内部塗装	有害物との接触	損失1日 (有機溶剤中毒)	54才	1次

**発生の状況**

冷却水タンク内部の塗装塗替えを被災者 (事業主) と2名で開始、交替でタンク内の水抜きと錆びのケレンを行った後、タンク内に被災者が入って防錆塗装 (エポタール) 中に気分が悪くなりタンク内で倒れ、タンク上で待機していた作業員からの通報で救急隊員を要請して救出された。



-作業標準- (仕上げ編) (10) 塗装工事: 1 内部塗装作業

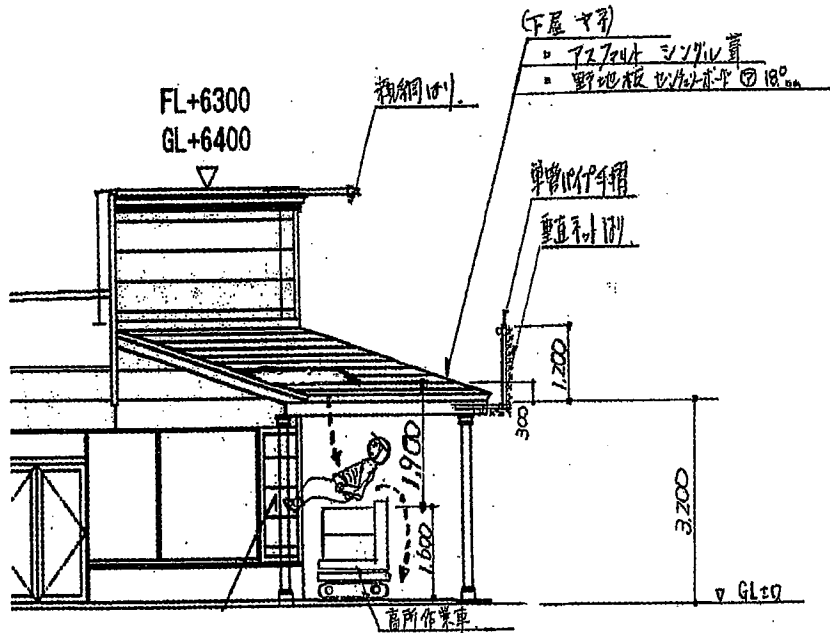
NO	作業の順序	どんな危険があるか (予想される災害)	評価	私たちはこうする (防止対策)	誰が
4 塗 装 作 業	5) 塗装 (準備)	・ 有機溶剤中毒	▲▲	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 作業主任者の選任</li> <li>・ 特殊健康診断の確認</li> <li>・ 有機溶剤保管場所を定め関係者に周知する</li> <li>・ 有機溶剤使用時の注意事項を作業場の見易い場所に掲示する</li> <li>・ 換気装置の設置を行う</li> <li>・ 搬入塗料の安全データシート (MSDS) を確認し周知する</li> <li>※防護マスクを使用する</li> </ul>	安責者・職長 作業主任者
	(作業)		●●		作業主任者
リ ス ク 評 価	高い	●●●	5	<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>作業主任者の資格を有する事業主自らが無謀な作業を行った結果の災害である。タンク内、地下ピット、通風の不十分な室内等で、有機溶剤含有材料を生半可に取扱うと生命に危険があることを肝に銘じておくこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 換気設備を設置して十分な換気を確保すること</li> <li>・ 有機溶剤取扱い作業主任者の直接指揮のもとで作業を行うこと (1人作業は厳禁)</li> <li>・ MSDS に示す取扱い上の注意事項を全員に周知し、確実に実施させること</li> </ul>	
	やや高い	●●	4		
	中	●	3		
	やや低い	▲▲	2		
	低い	▲	1		

※ は、本災害発生に伴う追加事項

NO	区分	作業の種類	事故型	傷病程度	年齢	所属
2	建築	屋根外装	墜落 (高さ 3.5m)	損失 11日 (腰椎骨折)	21才	3次

**発生の状況**

下屋屋根上にて、アスファルトシングル葺き作業中、野地板 (センチリーボード t=18) を踏み抜いて墜落、途中、直下の高所作業車の手摺りに当って 3.5m 下の碎石地盤上に落下した。



ー作業標準ー 類似作業: (仕上げ編) (5) 板金工事 : 2立平葺屋根作業

NO	作業の順序	どんな危険があるか (予想される災害)	評価	私たちはこうする (防止対策)	誰が
2	6) ルーフィングの敷込み (ガムロン)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 墜落する</li> <li>・ 野地板を踏み抜く</li> </ul>	●	<ul style="list-style-type: none"> <li>※安全ネット設置の確認</li> <li>※親綱設置の確認</li> <li>・ 端部では安全帯を使用する</li> <li>・ 梁、母屋の上に乗せる</li> <li>・ 通路部分に足場板を設置する</li> </ul>	職長・安責者  作業者  作業者
リ	高い	●●●	5	<b>&lt;コメント&gt;</b> 野地板やスレート板等の「踏み抜き」に対する危険予測のポイントを再確認すること。 ・ 野地板は局所荷重や衝撃によって割れることがあるので、歩行に際しては足場板を敷くなど、直接野地板を踏まないようにする。 ・ 安全帯の装着、安全ネットの設置など所定の危険防止策をとってから作業を行う。 ・ 屋根葺き材などの資材は、集中荷重とならないように、下地鉄骨に敷板を敷き、分散させて置く。	
ス	やや高い	●●	4		
ク	中	●	3		
評	やや低い	▲▲	2		
価	低い	▲	1		
※ は、本災害発生に伴う追加事項					

「作業場所での作業手順KY」を徹底指導する

# 3 仕上工事 11-2-11

2008 年災害事例による安全衛生教育資料

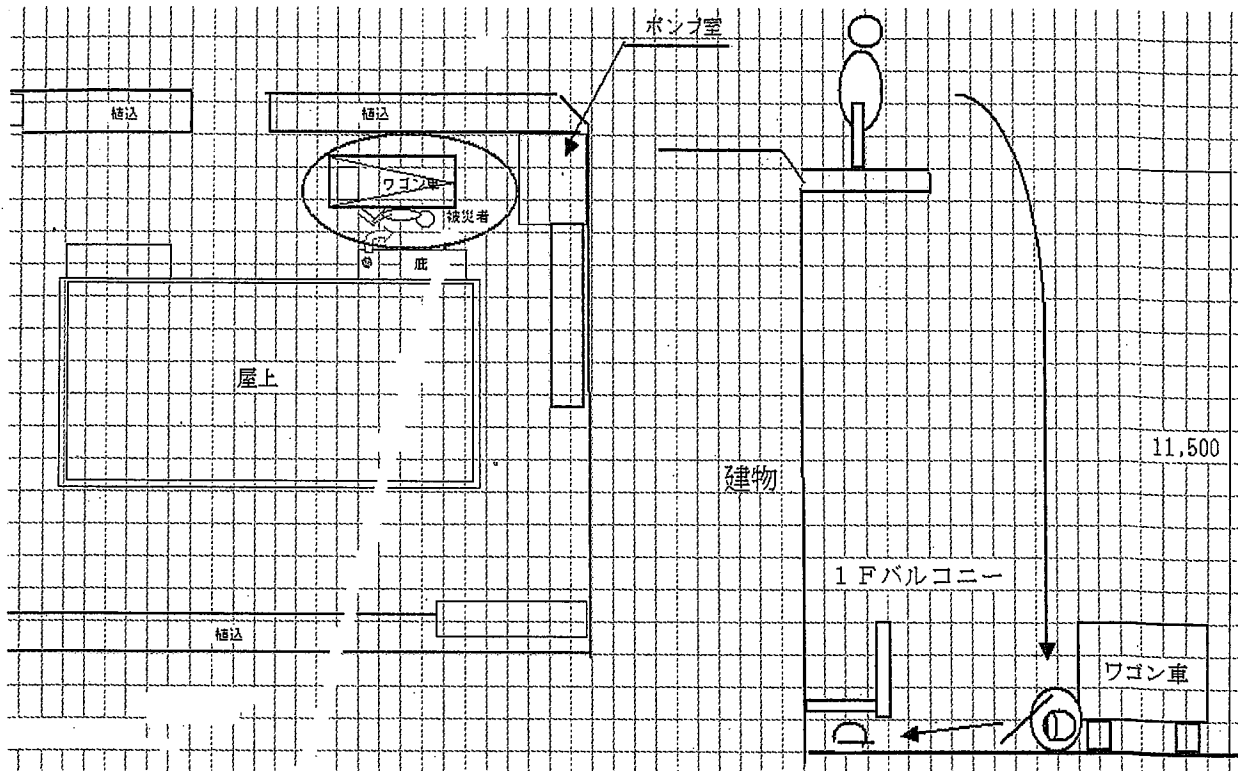
—作業標準に基づいたKYの実施—

NO	区分	作業の種類	事故型	傷病程度	年齢	所属
6	建築	仕上・屋外工事	墜落 (11.5m)	損失90日(骨盤骨折他)	20才	2次

### 発生の状況

4階建て建物改修工事において、屋上の既存アルミ笠木復旧作業が終了し、被災者は屋上で一人で片付け作業中にコンクリート庇から地上に墜落した。

(地上のポンプ室から引いた電源コードを手繰り上げようとしてパラペット外側の庇上で作業中に何らかの理由で墜落したと思われる)



### —TAISEI OHSMS 作業標準—

NO	作業の順序	どんな危険があるか (予想される災害)	評価	私たちはこうする (防止対策)	誰が
	屋上片付け	墜落	●●	※ 屋上基礎に親綱を結束してロリップにて安全帯を使用する ※ パラペット内側で作業を行う	作業者
リ	高い	●●●	5	<b>&lt;コメント&gt;</b> ◆防水改修工事の施工時には、外周に親綱を設置していたが、笠木を取付ける時に親綱を撤去して以降、墜落防止設備(親綱等)がなかった。 ◆作業責任者(非常駐)がアルミ笠木復旧作業終了後に退場しており、経験の浅い(2ヶ月)作業員に単独で片付け作業を行わせていた。	
ス	やや高い	●●	4		
ク	中	●	3		
評	やや低い	▲▲	2		
価	低い	▲	1		

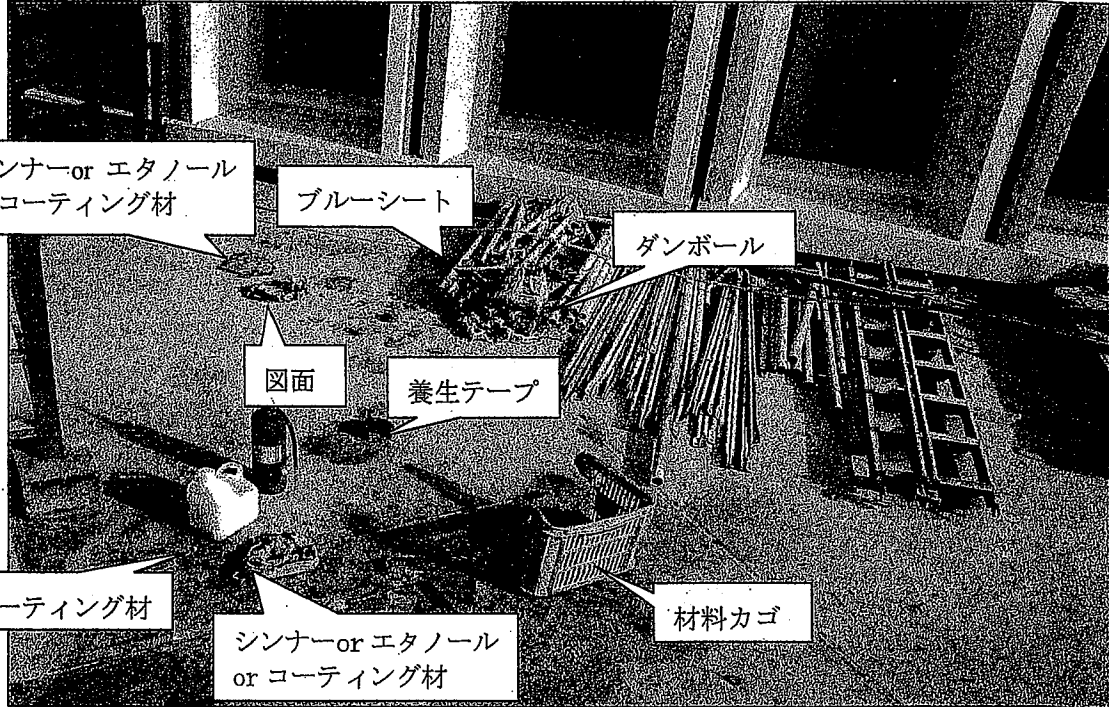
※ は、本災害発生に伴う追加事項

NO	区分	作業の種類	事故型	傷病程度	年齢	所属
7	建築	外壁塗装	その他(火災)	火傷(損失8日)	33才	3次

**発生の状況**

外壁修繕工事において19階ガラのコーティング(光触媒塗装)作業を行っていた。18F屋上で作業中、材料(シンナー等)が発火しカゴ内のシンナー、エタノール、コーティング材、紙ファイル及び塩ビ製の材料カゴ本体に引火した。被災者は、踏みつけて消火しようとして足に火傷を負った。

※ライターを使って切断したクレモナロープ(工具類をベルトに結びつけるもの)切れ端を材料カゴ内に入れた物が火種になったと思われる。



**作業標準 (仕上偏) 10 塗装工事 2. 外部塗装作業**

NO	作業の順序	どんな危険があるか (予想される災害)	評価	私たちはこうする (防止対策)	誰が
2	塗料機材の搬入 1. 作業場所へ塗料、機材を運搬する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 塗料缶の落下</li> <li>・ 塗料の飛散</li> <li>・ 危険物の取扱い</li> <li>・ 火災防止</li> </ul>	▲▲	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 手運搬の場合は一缶ずつ運ぶ</li> <li>・ 運搬は未封の状態で行う</li> <li>・ 運搬通路を点検し周囲をよく見て点検する</li> <li>・ 障害物、段差、開口部等、片付け是正を行う</li> <li>・ 一時保管場所を設ける場合は消火器を備え整理して保管する</li> <li>※火気厳禁を徹底する</li> <li>・ 関係者以外立入禁止の設置をする</li> </ul>	職長・ 作業員
リ ス ク 評 価	高い	●●●	5	<p>&lt;コメント&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 改修工事で、かつ塗装用の可燃材料のある作業場所でライターを使用したこと事態、非常識な行為です。(作業手順書には「火気厳禁」と定めている)</li> <li>又、使用場所に消火器の用意がなく、足で踏みつけて消火しようとしたなど常に可燃材料を取扱う作業員として不適格と言わざるを得ません。</li> <li>※事業主が行う送り出し教育等を充実して、関係作業員に対し、可燃材料等の容器の取扱方法、火気の手配・使用の禁止、関係者以外の立入禁止、消火設備の用意・使用方法等についてして具体的に教育・訓練を行うことが必要です。</li> </ul>	
	やや高い	●●	4		
	中	●	3		
	やや低い	▲▲	2		
	低い	▲	1		

※ は、本災害発生に伴う追加事項

「作業場所での作業手順KY」を徹底指導する